



### 中学生ロボコン

都立産業技術高専

ものづくり工学科・吉田喜一

今年で7回目を迎える中学生ロボコンの準備が始まりました。荒川区、北区の社会教育の担当者とロボ研の学生とで今年の日程調整をしています。12月15日(土)からスタートして年内に3回、1月に5回、土、日、冬休みに高専に来て頂く予定です。ルールを今学生が考えていますが、そのルールにそってアイデアをだしてもらうところからスタートします。次にアイデアを組み立てて、部品図に描きます。中学生は製図の経験が今ほとんど無いので大変苦労します。そして部品を加工していきます。各種機械を指導学生が援助して使い方を覚えます。そして組立、調整に至ります。なかなか思うとおりに動きません。改良に改良を重ねます。マシーンを作ってリハーサルです。1月20日(日)午後を高専でロボコンを行うというものです。2月2日(土)

には北区で、もう一回ロボコンを行います。さらに3月9日(日)の午前に荒川区産業展(南千住の総合スポーツセンター)でも試合を行います。どの試合でも同級生、保護者、中学の先生等の見学・応援で大変盛り上がりがあります。各種テレビや新聞社の取材もあります。ロボコンそのものも大変楽しいですが、マシーンを作っている姿も好感を持てるものです。

もうすぐ(11月中旬)中学校を通して連絡が行きます。中学生のみなさん!ものづくりの楽しさと厳しさを経験しませんか。大人のみなさん中学生ロボコンを見に来ませんか。なおNHK高専ロボコンのマシーン作りに高専学生は最後の力を振り絞っています。全国大会は11月25日(日)午後、国技館です。都立産業技術高専(旧航空高専)の学生がでいたら応援よろしくお願いたします。



### ★街歩き★

10月27日(土)午後1時  
JR南千住駅改札口  
「消えてしまった汐入村」と「木母寺」  
杉山さんの解説でゆっくりと歩いてみませんか。  
参加費無料です。



### 覚えておきたいメガネ選び(後編)

前回に続き、メガネを選ぶ際のポイントを取り上げます。今回は「レンズ選び」についてお話しします。

レンズは「見えにくい距離の物を見やすくする」ことが最大の役割ですが、そのレンズには「材質」や「設計」や「付加機能」などによって、様々な種類があります。代表的な例をご紹介します。

①材質：軽くて割れにくく、安全性の高い「プラスチック製」は、お子様をはじめほとんどの方にお勧めです。一方、プラスチックよりも硬質で薄さや耐擦傷性に勝る「ガラス製」を好まれる方もいらっしゃいます。この2種類、どちらの材質にも、「薄型」や「超薄型」といった高級タイプもあります。

②設計：近視や遠視、老視補正用などに用いるのは「単焦点レンズ」です。また、いわゆる遠近両用メガネに用いるのは、「累進多焦点レンズ」や、「二重焦点レンズ」といった複数

の焦点を持つレンズです。ここには、近年「室内用・家事用レンズ」や、「パソコン用レンズ」といった新しいジャンルも登場しています。

③付加機能：目に有害な紫外線を防ぐ「UVカット」、汚れや傷つきにくくする「コーティング」、まぶしさを和らげたり目元をおしゃれに魅せる「カラー加工」など、いくつかの付加機能があります。自分に必要なものがあれば選択するのも良いでしょう。

以上のように、レンズにはたくさんの種類があります。価格にも随分と幅があり、チラシなどを見てもどれを選べばよいのか迷ってしまいがちです。最終的に決めるのはご本人様ですが、予算や使用目的に合わせて、最も快適に使えるレンズを選んでくれるお店やスタッフを見つけたことが、実は一番のポイントと言えるのかもしれない。【消費生活アドバイザー 佐藤 祐一郎】



◆メガネのサトウ◆  
南千住5丁目43の13【コッ通り】  
TEL 03(3806)4930

### ★営業時間のご案内★

平日・土曜：AM 10時～PM 7時30分  
日曜・祝日：AM 11時～PM 6時30分  
◎10月25・30・11月4・11・14日は休業日でございます。